

2026年5月13日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社

重要事項（マテリアリティ）の策定について

三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：今枝 哲郎、以下 SMFL）は、社会環境の変化や事業領域の拡大を踏まえ、2026年4月1日付で、SMFL グループの新たな重要事項（マテリアリティ）を策定したことをお知らせします。

SMFL は、経営理念・経営方針を示す「SMFL Way」の Our Vision（私たちの目指す姿）の一つに「SDGs 経営で未来に選ばれる企業」を掲げています。また、2020年には「環境」「次世代」「コミュニティ」「働きがい」を重点課題（マテリアリティ）として設定し、社会課題の解決と企業価値の向上に取り組んできました。

今回、SMFL では重要事項（マテリアリティ）を「当社グループおよび社会の持続的な発展において重要な事項」と定義しました。策定にあたっては、当社グループの活動が環境・社会に与える影響と、環境・社会の変化が当社グループの活動に与える財務的な影響の双方を評価する「ダブルマテリアリティ」の考え方を採用しました。

また、取り組みの進捗を SMFL グループ全体で共有し、推進体制をより強化することを目的に、重要事項（マテリアリティ）について、長期的に実現したい姿を「目指す姿」として整理するとともに、具体化した目標である「重要事項 KPI」*1 を設定しています。

SMFL グループの「重要事項（マテリアリティ）」

重要事項 (マテリアリティ)	基本的な考え方	目指す姿
地球環境	金融×事業×DXに強みを持つ当社の特性を生かし、脱炭素社会・循環型社会の実現と自然環境の保全に貢献します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ カーボンニュートラルへの貢献 ■ サークュラーエコノミーのプラットフォームとしての貢献 ■ 自然資本の保全
社会との共生	レジリエントな物流やインフラ構築、国内外の地域や子どもへの支援を通じて、地域コミュニティとの共生と、次世代を担う子どもたちの貧困・格差解消に取り組めます。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 地域課題の解決と持続可能なまちづくり ■ 世界各国の持続的な発展への貢献 ■ 次世代の成長への貢献
多様性と人権	多様性を強みとする企業風土の醸成・ウェルビーイングの向上と、サプライチェーン全体の人権尊重を通じ、誰もが自分らしく活躍できる社会の実現を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 挑戦する人材の育成と働きがいの醸成 ■ 多様性を強みとする組織とウェルビーイングの向上 ■ 全てのステークホルダーの人権の尊重
イノベーション	AI等の新技術の開発・導入・活用、ステークホルダーとの共創を通じて、時代の変化を先取りし、イノベーションを創出します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 共創を通じたイノベーション推進 ■ DXを通じた業務効率化と生産性の向上
ガバナンス	法令遵守はもとより、強固なガバナンス体制の維持・強化を通じた企業としての責任を果たし、社会の信頼とお客様の期待に応えるよう、誠実に行動します。	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンプライアンスとガバナンスによる健全な経営

気候変動をはじめとする地球規模の課題や社会構造の変化、テクノロジーの進展、そして価値観の多様化など、企業を取り巻く環境はかつてないスピードで変化しています。このような変化は、事業のリスクであり、同時に新たな成長の機会でもあります。

今後も、SMFL グループは社会に必要とされ、持続的に成長するために、グループ一丸となってサステナビリティへの取り組みを推進してまいります。

※1 「重要事項 KPI」については、本日付プレスリリース「中期経営計画（2026～2028 年度）について」に記載している非財務目標を参照ください。

以 上

【お問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 広報 IR 部 渡邊・清水 TEL 03-5219-6334